

TROUBLESHOOTING SIMULATION

トラブルシューティング・シミュレーション(KT-TSS)

航空会社のパイロットは、飛行機の操縦を本で学ぶのではなく、シミュレーターで練習しています。

www.kepner-tregoe.com



トラブルシューティング・シミュレーション (KT-TSS)

TSSは、KTトレーニング参加者の問題解決力の復習、更なる磨き上げ、強化を可能にします。

本プログラムは「体験型」の学習であり、理論と実世界のギャップを埋めるものです。

本プログラムは、

1. リスクフリーの仮想環境で実施します。
2. スキルレベルを即座に可視化しフィードバックします。

シミュレーション・ベースのトレーニングでは、参加者はプレッシャーの中、難易度の高いシナリオでスキルを迅速かつ効率的に適用することに挑戦します。

これにより、教室から現場へのスキルの伝達を効果的に加速させることができます。

主な特徴



リアルな環境

シミュレーションには実際の問題が含まれています：

- ・ 急がれる解決（タイム・プレッシャー）
- ・ 情報過多
- ・ 複数の情報源
- ・ 不必要な行動、またはタイミングの悪い行動による解決の妨げ

主な利点



チームワークを重視したトラブルシューティングの実践

問題は一人で解決するものではなく、他人の意見や助けが必要です。本プログラムは、少人数制のため、参加者は共同で行うトラブルシューティングのダイナミズムを体験し、理解することができます。

主な効果



短時間で習熟

習熟度 = 練習 + フィードバック + 反復

実践的な練習、講師からのフィードバック、グループ・ディスカッション、およびその繰り返しが能力強化の時間を短縮します。

習得できるスキル

- ・ プレッシャーの中で問題を解決し、安全かつ迅速に業務を復旧させるスキル
- ・ 行動する前に考えられる原因を絞り込み、試行錯誤を防止するスキル
- ・ 再発防止策と是正措置を実施するスキル
- ・ 必要なプロセスやリソースを判断し利用するスキル

トラブルシューティング・シミュレーションは「体験型」学習です

シミュレーションの形式には様々なものがあります：

SWAP — 参加者がシナリオを交換し複数の視点を体験します。引継ぎやシフトチェンジをシミュレートします。

MULTIPOSITION — いわゆる「ロールプレイ型学習」です。役割分担の異なるシナリオを描くことでトラブルシューティングやコミュニケーション・スキルの向上を図ります。

設定画面

各シナリオのフィードバックは、スコアボードでリアルタイムに確認できます。

スコアボードには、リスク、コスト、時間効率が表示されます。

より複雑なシナリオに挑戦していきますが、学習曲線は時間とともに急勾配になります。

ダッシュボードで進捗やパフォーマンスを確認することができます。

グループは一日中、進捗とパフォーマンスを可視化することができます。

TSSの大きな特長。それは、ゲーミフィケーション！！

私たちはこのトレーニングを何百回も行っていますが、いつも「ゲームのようだ」という感想をいただきます。まさにスポーツそのものです。楽しいだけでなく、チームワークも学ぶことができ、とても勉強になります。

TSSを受講する適切なタイミングはいつでしょうか？

ワークショップの追加として

TSSを1日追加することで、KTトレーニングへの投資を最大限に活用することができます。例えば、問題解決・意思決定プログラム（KT-PSDM）にTSSを追加することで、参加者は学んだスキルを現実的に（そして楽しく）練習する機会が得られます。これにより、習得したスキルを定着させることができます。

復習もしくは、練習会として

問題解決・意思決定プログラム（KT-PSDM）を受講してから2週間から2年が経過した方のための復習用として、TSSはスキルを改めて磨き、トラブルシューティング・スキルを強化するのに役立ちます。

TSSを受講すべきは？

対象者：問題解決のスキルを磨きたい方。

前提条件：問題解決・意思決定（KT-PSDM）、アナリティック・トラブルシューティング（KT-ATS）、または根本原因分析（KT-RCA）のトレーニングを既に受講していること。

詳細：

期間：半日～3日間の形式をご用意。

トレーニング形態：オンライン研修もしくは集合研修にて実施。

”TSSは、今までのトレーニングの中で一番楽しい! 問題解決をより良く、より速く、より効率的に行いたい人にお勧めします!”

Martin Wu,
ソフトウェア開発者
ZF

”このプログラムには、いくつかの予想外の効果がありました。私のチームは構造的な問題解決能力が格段に向上しただけでなく、コミュニケーション能力やチームワークの向上に役立ったことを、メンバー全員が実感できたのです。”

Michael Schneider,
ITマネジャー
SKF Electronics

北米 | ヨーロッパ | アジア・太平洋 | 日本



Kepner Tregoe Japan,LLC.

〒107-0051

東京都港区元赤坂1-7-18

メットライフ元赤坂イースト5階

TEL:03-3401-9521

FAX:03-3479-0745

<https://kepner-tregoe.com/>